

慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resources

Title	序
Sub Title	
Author	堀江, 湛(Horie, Fukahi)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1991
Jtitle	法學研究 : 法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.64, No.12 (1991. 12) ,p.5- 6
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	人見康子教授退職記念号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19911228-0005

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

序

人見康子教授は今年度をもって塾法学部を定年でご退職になる。第二次大戦後の塾法律学科を代表する顔のひとつであった先生がまた一人、三田の山を去られるわけである。寂寞の感に堪えない。

人見康子教授は小池隆一先生の愛弟子として、第二次大戦後の混乱の最中の昭和二十五年、民法部門の一翼を担うべく初の女性スタッフとして塾法律学科に加わられた。先生のご専門は親族法・相続法であったが、とりわけ夫婦財産制に関するご研究は比較法的資料を渉猟され、法社会的視角にも立脚された実証的研究として、今日に至るまで学問的価値を失わないばかりか、社会的意義も高く評価されている。また人工授精・体外受精に関するご研究は、文字通りわが国における先駆的な業績として広く先生の名を学界に高からしめたものである。

第二次大戦後、戦後民主主義の高揚のもとで大学の門が女性に開かれると同時に、先生は東京女子大学から塾法学部にご入学になり、卒業後引き続き研究者の道を歩みはじめられた。それだけに先生は、女性の社会的地位の向上と職業進出に対する差別の除去に強い問題意識を持ちつづけてこられた。法制審議会や家庭裁判所家事調停委員のお仕事の上でも、随所にこの問題意識が見てとれる。それだけにお若い頃から同世代や後輩の女性研究者が時に見せる社会的甘えなどには容赦がなかった。

先生にはじめてお会いしたのは大学に残った新人歓迎会の席上であった。偶々隣に座られた先生はチャイナドレスに身を包み足を組んで煙草をくゆらせておられたが、そのお姿が決っているのと先生の指に輝いていた大粒のダイヤモンドに思わず目を見張ったことを今でも懐かしく想い出す。先生のドライブの腕前は、名人芸の域に達していた。ひところともすれば運転のもたつく女性ドライバーを揶揄する女ドラということばが流行ったが、先生はエッセイで男性ドライバーを、女ドラならぬオドラと名付けて一矢を報いられた。先生の面目躍如であった。

このたび先生は明海大学の招請に答えて、同大学に新設される不動産学部に赴任される。明海大学での一層のご活躍を期待するとともに、先生の去られた後塾法律学科民法部門を支える後進の寄稿することこの論文集を捧げることにより、多年の慶應義塾大学法学部に対する先生のご貢献に感謝の意を表する次第である。

平成三年十二月

法学部長 堀 江 湛